

令和 6 年度 事業 報告

市民及び事業所における防火意識の普及啓発及び防火管理体制並びに危険物の安全管理体制の強化促進を図るため、下記のとおり事業を実施した。

I 公益目的事業

1 防火思想普及啓発事業

市民及び事業所の防火・防災意識の向上を図る目的として、次の事業を実施した。

(1) 火災予防啓発事業

ア 秋・春の全国火災予防運動期に、火災予防を市民に広く呼びかけ、火災予防運動啓発ポスターを配布した。 秋季配布事業所 869件 春季配布事業所 857件

なお、春季防火ポスター6,000枚を印刷し、消防局と協働して配布した。

イ 秋季・春季さいたま市火災予防強化運動期間中に消防局及び各消防署が実施した広報活動を支援し、防火・防災意識の向上を図った。

(2) 少年消防団支援事業

消防局の公募による小学生、中学生、高校生からなる少年消防団活動事業に支援、協賛を実施しました。この事業は、地域防災の担い手を育成するため活動を通じ、防火・防災知識と災害時の行動力の習得を目的として少年消防団活動事業を実施したものであります。

令和7年2月22日、さいたま市防災センターにおいて開催された少年消防団競技大会を協賛すると共に副会長及び事務局職員が参加した。

(3) 危険物研修会開催

危険物安全週間に併せ危険物の安全確保のため、危険物施設事業所管理者及び危険物取扱者等を対象とした研修会を実施した。(年1回)

令和6年6月4日(火)、与野本町コミュニティーセンター 1階 多目的ホール
126名参加(会員44名、非会員82名)

(4) 表彰事業

危険物に対する安全管理と防火対象物における防火管理に努め、特に顕著な功労のあった事業所及び個人の表彰を実施した。

ア 公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰 11事業所(内個人4名)

イ 公益社団法人さいたま市防火安全協会会長表彰 18事業所(内個人7名)

(5) 情報誌(機関紙)の発行

ア 消防機関の防火・防災対策等の取り組み記事、消防関係法令の改正解説や各種講習日程な掲載した機関誌「会報23」を発行した。 発行部数 1,000部

※ 事業別の構成に変更しました。

イ 防火管理体制の充実を図るため、防火管理マニュアルを配布した。

配布部数 1,000部

(6) 住宅用火災警報器促進事業

住宅火災による死傷者の減少及び被害の軽減並びに市民に対する防火意識の高揚を図るとともに住宅用消火器及び住宅用火災警報器の設置促進を支援した。

2 講習事業

(1) 防火管理及び防災管理に関する講習会		(合計28回 3,400名)	
ア	甲種防火管理新規講習	9回	受講者 1,137名
イ	甲種乙種同時防火管理新規講習	1回	受講者 123名
ウ	甲種防火管理再講習	2回	受講者 188名
エ	防災管理新規講習	1回	受講者 130名
オ	防火・防災管理新規講習	13回	受講者 1,634名
カ	防火・防災管理再講習	2回	受講者 188名
(2) 防火対象物定期点検制度等に関する講習会		(合計6回 276名)	
ア	防火対象物点検資格者講習	1回	受講者 50名
イ	防火対象物点検資格者再講習	4回	受講者 161名
ウ	防災管理点検資格者再講習	1回	受講者 65名
(3) 危険物に関する講習会促進事業		(合計23回 182名)	
ア	甲種危険物取扱者試験準備講習	1回	受講申込み 1名
イ	乙種第4類危険物取扱者試験準備講習	3回	受講申込み 6名
ウ	給油取扱所危険物取扱者保安講習会	8回	受講申込み 58名
エ	その他の施設危険物取扱者保安講習会	11回	受講申込み 117名

II 法人の目的を達成するために必要な事業

1 諸会議の開催

(1) 総会・理事会等の開催

ア	会計監査	(令和6年4月19日)	令和5年度会計監査
イ	第29回理事会	(令和6年4月25日)	令和5年度事業報告、収支決算報告
ウ	第10回通常総会	(令和6年5月23日)	ホテルブリランテ武蔵野
エ	第30回理事会	(令和6年10月25日)	令和6年度上半期事業、収支中間報告
オ	新年賀詞交歓会	(令和7年1月24日)	清水園
カ	表彰選考委員会	(令和7年1月19日)	さいたま市防災センター
キ	第31回理事会	(令和7年3月25日)	令和7年度事業計画、収支予算

2 関係団体との緊密な連携

- (1) 埼玉県、消防局及び関係団体との連携を密にし、協会事業の円滑な推進を図った。
- (2) 全国の消防防災法人団体との情報交換（総会及び実務研修会は業務多忙により不参加）

3 「新規会員加入」の促進を図る。

- (1) 危険物研修会開催に合わせて非会員の事業所に当協会の活動紹介と入会案内を実施した。

4 その他必要な事業

- (1) 会員に関する慶弔慰問